

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 小松島市国際交流協会

1. 事業名称 外国人生活者の地域順応プログラム

できる！わかる！！なかよし！！日本語教室

2. 事業の目的 当該地域に在住する外国人は、殆どが日本人夫の外国人妻である。その外国人生活者の地域への融合を図り、日常生活全般にかかる出産、育児、教育、近所づきあい、就職等の支援を行う。それにより、日本語を使って、困ることなく健康で安全に日常生活が送れるようにする。自分に自信を持って暮らせるようになる。そして、地域社会の一員として、地域を理解し、また自分から情報を発信できるようになる。

3. 事業内容の概要

従来より行われてきた「みんなの日本語」を使用した授業をベースとして、地元の実情に合わせた日本語授業の実施 好評を博している授業中の託児システムに、育児や教育に関する講義を加え、絵本の読み聞かせや日本昔ばなしなど、外国人自身の日本語能力のスキルアップと、子育てに役立つ日本語教育を実施する。

4. 運営委員会の開催について

数	開催日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年7月21日	3時間	村上宅	佐野 善作 岩浅 昌昭 村上 治郎 福本 敦子 村上 久美子	今年度の日本語教室 をいかに進めるか	年度の計画の説明 通年度の事業の進め方 受講者の集め方 マスコミへのアプローチ 託児の問題 その他
2	平成24年9月15日	3時間	村上宅	佐野 善作 岩浅 昌昭 村上 治郎 福本 敦子 村上 久美子	現在の日本語教室の 状況	日本語教室の状況 いかに学習者を集めるか。
3	平成24年12月8日	3時間	村上宅	佐野 善作 岩浅 昌昭 村上 治郎 福本 敦子 村上 久美子	現在の日本語教室の 状況	日本語教室の状況 外国人学習者の状況
4	平成25年3月2日	3時間	村上宅	佐野 善作 岩浅 昌昭 村上 治郎 福本 敦子 村上 久美子	今年度の日本語教室 次年度について 日本語シンポジウム	今年度の日本語教室の報告 次年度はどうするか

5. 取組についての報告

○取組1:日本語教室

(1) 体制整備に向けた取組の目標

日本語を使って、困ることなく健康で安全な日常生活が送れるようにする。日本で生活する自分に自信を持って暮らせるようになる。また、地域社会の一員として、地域を理解し、また自分から情報を発信できるようになる。

(2) 取組内容

日本語教室。漢字、日本語能力試験の受験勉強など、学習者の希望に沿った日本語学習を行う。

(3) 対象者

小松島市及び周辺地域の外国人。

(4) 参加者の募集方法

ロコミ。四国放送ラジオ、テレビ。市広報、徳島新聞、新聞折込チラシ。

(5) 参加者の総数 17人

(出身・国籍別内訳 アメリカ2名 中国3名 ロシア5名 タイ1名 フィリピン6名)

(6) 開催時間数(回数) 42時間 (全 13回)

(7) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年8月19日 9:30~12:30	3時間	6人	ロシア(5人) 中国(1人)	漢字 敬語	「にほんご漢字トレーニング」を使用。本の字と書く字の違い、いかにきれいに書くか。 「みんなの日本語」その他から、敬語を学ぶ。
2	平成24年8月26日 9:30~12:30	3時間	6人	ロシア(4人) タイ(1人)	漢字 敬語	「にほんご漢字トレーニング」を使用。読み方のルールを知る。 「にほんご敬語トレーニング」を使用。尊敬語の練習。敬語に種類があることを学ぶ。
3	平成24年9月2日 9:30~12:30	3時間	10人	ロシア(3人) フィリピン(3人) アメリカ(2人) 中国(2人)	漢字 敬語 ひらがな	「にほんご漢字トレーニング」を使用。漢字の読み方。メールの打ち方。尊敬語の使い方。 ひらがなの書き方、読み方。挨拶の仕方。自己紹介
4	平成24年9月9日 9:30~12:30	3時間	5人	ロシア(1人) タイ(1人) フィリピン(3人)	漢字 敬語	音読みと訓読みがあることを知る。漢字の意味の理解の仕方。 人の名前の意味を知る。 仕事での敬語の使い方。コミュニケーションを円滑にするにはどうするか。
5	平成24年10月21日	3時間	3人	フィリピン(3人)	漢字	少しの漢字からことばを増やす。

	9:30~12:30	間		人)	敬語	仕事での敬語の使い方。お茶の出し方
6	平成24年10月28日 9:30~12:30	3時間	5人	フィリピン(3人) アメリカ(2人)	漢字 敬語 ひらがな、挨拶	漢字の書き方の練習。宅急便の伝票の書き方。 仕事での敬語の使い方。 あいさつとおじぎ。ひらがなの読み書き。
7	平成24年11月4日 9:30~12:30	3時間	5人	中国(1人) フィリピン(3人) ロシア(1人)	漢字 敬語	同じ読み方の漢字の練習。 謙譲語の練習。
8	平成24年11月25日 9:30~12:30	3時間	3人	ロシア(2人) 中国(1人)	漢字 日本語能力試験 敬語	同じ読み方の漢字の練習。日本語能力試験の勉強。 謙譲語の練習。
9	平成24年12月2日 9:30~12:30	3時間	3人	フィリピン(3人)	漢字 日本語能力試験 敬語	同じ読み方の漢字の練習。日本語能力試験の勉強。 謙譲語の練習。
10	平成25年1月6日 9:30~12:30	3時間	3人	フィリピン(2人) ロシア(1人)	漢字 日本語能力試験 敬語	同じ読み方の漢字の練習。日本語能力試験の勉強。 謙譲語の練習。
11	平成25年1月13日 9:30~12:30	3時間	3人	フィリピン(2人) タイ(1人) ロシア(1人)	漢字 日本語能力試験 敬語	同じ読み方の漢字の練習。日本語能力試験の勉強。 謙譲語、尊敬語の特殊な言い方の復習。
12	平成25年1月27日 10:00~16:00	6時間	5人	ロシア(2人) 中国(1人) フィリピン(3人)	就業支援職業体験	鳴門のわかめ・牡蠣養殖業者のところに行き、牡蠣開けやわかめ採りの体験をし、仕事の日本語を実際の体験とともに学ぶ。 (この日のみ6時間)
13	平成25年2月10日 9:30~12:30	3時間	3人	ロシア(2人) フィリピン(1人)	漢字 敬語	文章の中の漢字を読んでいく。 電話の受け答えの練習。

(8) 特徴的な活動風景



今年度は i Pad(講師私物)をできるだけ利用して、ひらがな、カタカナ、オノマトペの学習したところ、文字の習得もオノマトペや漢字の筆順なども飛躍的に効果が上がった。

外国人学習者がタブレットを持ってくることも多くなり、お互いの家族の写真や母国の風景などを見ながら、日本語で話すことができた。

平成 25 年 1 月 27 日 就業支援職業体験を実施。

鳴門の芝原水産(株)において、徳島の地場産業である鳴門わかめの収穫、牡蠣むきの 体験をした。

日頃、したことの無いことを経験した学習者たちは

「私の国で住んでいたところは海がありません。こんなことをしたのは初めてです」(中国・女性)

「私の国のフィリピンでは、海は近くにありますが、寒くないです。牡蠣やわかめは、お店では見たことがあります、こういうふうに採るんですね。いい経験になりました。」(フィリピン・女性)



(9) 取組の目標の達成状況・成果

聞き取り調査の結果である。

日本語教室に来ることで、仕事ができるようになった。(フィリピン女性)

友だち作りができるようになった。違う国の友だちができるのはうれしい。

日本語の敬語の使い分けができるようになって、コミュニケーションがスムーズに取れるようになったおかげで、地域で、母国語の教室ができるようになった。(例:ロシア語教室)(ロシア・女性)

(10) 改善点について

外国人散住地域なので、外国人に当教室の存在を知らせるのが大変である。情報が行き届くようにしたい。

日本人が熱心でも、外国人にはその熱心さが伝わっていないことが多い。

外国人が仕事につくと、日曜日に出づらいことが多くなり、参加者がだんだん減少傾向にある。

直接日本語で困ることはないので、日本語教室から、足が遠のく。しかし、日本語教室は続けてほしい、と言う。

○取組2: インターナショナル子育てサークル「ももたろう」

(1) 体制整備に向けた取組の目標

外国人も日本人も子育てについていっしょに学ぶ。

お互いの経験をシェアして、よりよい子育てが出来るようになる。

(2) 取組内容

昨年 12 月に「外国人、日本人みんなで子育てをしよう」と立ち上げた子育てサークルを充実させる。子育てを通して、相談のできる隣人を作る。子育ての情報を日本語とともに学ぶ。学校のお便りの読み方や情報交換ができるようになる。また、外国人の必要な部分の日本語教室も開講する。漢字や敬語、学校の先生との話し方などを学習して、個人面談などの会話ができるようになる。病院で困らないようにする。健康で安全な生活が送れるようになる。

(3) 対象者

地域在住の外国人、日本人。

(4) 参加者の募集方法

地元のマスコミ。口コミ、新聞折込チラシ。新聞記事。

(5) 参加者の総数 50人

(出身・国籍別内訳 アメリカ 2名 中国 4名 ロシア 2名 フィリピン 4名 ベトナム 1名 日本 8名

子ども・中国ハーフ 3名 ロシアハーフ 3名 フィリピンハーフ 8名 ベトナムハーフ 1名 日本 14名)

(6) 開催時間数(回数) 15時間 (全 5回)

(7) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成 24 年 8 月 5 日 9:30~12:30	3 時 間	13 人	ロシア (1 人) 中国 (1 人) 日本 (3 人) 子ども (8 人)	学校のおたよりを読む おしゃべり	学校のおたよりを持ってきてもらい、それを読む。 おしゃべりをしながら、お互いの国の子育てについて話す。
2	平成 24 年 9 月 16 日 9:30~12:30	3 時 間	16 人	ロシア (1 人) 中国 (1 人) フィリピン (1 人) アメリカ (2 人) 日本 (3 人)	学校からのおたより、メール ひらがな、カタカナの初級日本語 おしゃべり 徳島新聞の取材があった。	学校のおたより、成績表の見方を学ぶ。 学校からのメールを読む。メールの書き方を学ぶ。 ひらがな、カタカナ、挨拶を学ぶ。(アメリカ人) 学校や幼稚園で困っていることを話す。 10 月 11 日付徳島新聞 25 面に掲載。

				子ども (9人)		
3	平成 24 年 10 月 14 日 9:30~12:30	3 時 間	24 人	ロシア (1人) 中国 (2人) アメリカ (2人) ベトナム (1人) 日本 (5人) 子ども (13人)	漢字 敬語 ひらがな、カタカナ おしゃべり	「にほんご漢字トレーニング」を使用。漢字の読み方。 メールの打ち方。学校のおたよりの読み方。 ひらがなの書き方、読み方。挨拶の仕方。 子育ての国によつての違い。それぞれの国の話。
4	平成 24 年 11 月 11 日 9:30~12:30	3 時 間	21 人	ロシア (1人) フィリピン (2人) アメリカ (2人) 中国 (1人) 日本 (3人) 子ども (12人)	漢字 日本語の数の数え方、助数詞 おしゃべり	漢字トレーニングの復習。読み書きの練習。 にほんご「げんき」を使つての学習。 現在困つていること。みんなに話したいこと。
5	平成 24 年 2 月 24 日 9:30~12:30	3 時 間	16 人	フィリピン (2人) 中国 (1人) ロシア (1人) 日本 (1人) 子ども (11人)	漢字トレーニングの復習 日本語能力試験の学習 おしゃべり 毎日新聞の取材があつた。	漢字の書き方の練習。 N2の復習。N1の勉強の仕方をどうするか。 今、困つていることはないか。 2月26日付毎日新聞「徳島欄」に掲載。

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)



(10月14日)



2月24日の取材風景 記者さんといっしょに日本語の勉強もした。

(9) 取組の目標の達成状況・成果

このインターナショナル子育てサークル「ももたろう」は外国人だけでなく、日本人も関心を持っている方は来ていただくようにしている。

日本人は、外国人の子どもたちが通っている幼稚園や学校の母親たちの参加が多く、外国人が生活者として根付いていっていることを感じさせられた。

また、外国人はおしゃべりに終始することなく、2時間近くは日本語教室をした。非漢字圏の外国人はかなり熱心に漢字の学習を進めていった。それだけ、生活の中で漢字が必要なことがわかる。日本人の母親たちもていねいに、サポートしてくれた。医療などがもっと困るかと思っていたが、もう外国人たちは日本に来て10年近くたつ者が多いので、それほど不便さは感じていないようだ。新しく日本に来たアメリカ人にも英語が話せるフィリピン人が困ることは丁寧に教えていた。

幼稚園を会場に使わせていただいたので、子どもたちも飽きることなく、仲良く遊ぶことができた。ここで、ピアノが弾けるようになった子も出てきた。

外国人と日本人の子育てサークルということで、新聞の取材を2回受けることができた。5月には地元放送局である四国放送の「ゴジカル！」というローカル番組にこの「ももたろう」が紹介されたので、興味を持ってくれる人も増えてきた。

この番組のゲストとして、ロシア人学習者が2度、「ゴジカル！」(2度目は10月)に出演できた。このことは、外国人学習者により刺激になっているし、彼女たちの自信にもつながっている。

(10) 改善点について

参加者が固定してしまうので、どうしても、雰囲気マンネリ化してしまい、いつ来てもいいというような、時間にルーズな参加者が多い。また、来るか来ないか連絡が取れない、ということもしばしばである。子連れということで、仕方がないのだが、時間厳守はお願いしたい。

○取組3: 日本料理教室

(1) 体制整備に向けた取組の目標

日々の暮らしに大切な日本料理が、本やテレビを見ても作れるようになる。

(2) 取組内容

日本料理、徳島の郷土料理の調理実習を通して、調理の日本語を学び、外国人が自分でテレビ、本を見ながら調理できることを目指す。日本の料理の基本的な作り方を学び、日々の生活に生かせるようにする。買い物に行って困ることがないようにする。外国人だけでなく、現在核家族化が進んでいる日本人も、和食を学ぶ。また、和食を通して国際交流が進み、外国人生活者の応援団を作る。

(3) 対象者

地域在住の外国人、日本人。

(4) 参加者の募集方法

地元の放送局でのテレビ、ラジオ放送
チラシ。 口コミ

(5) 参加者の総数 21 人

(出身・国籍別内訳 中国 5 人、フィリピン 6 人、ロシア 3 人、ベトナム 1 人、)

(6) 開催時間数(回数) 12時間 (全 4 回)

(7) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成 24 年 7 月 29 日 9:30~12:30	3 時 間	7 人	ロシア (2 人) 中国 (2 人) 日本 (3 人)	親子どんぶり みかんとキーウィのフルーツ 寒天 ハムときゅうりの酢の物	日本のファストフード「どんぶり」を学ぶ。 海外と日本の計量の仕方の違い、調理器具の名前、扱い、野菜の名前、切り方の日本語を学ぶ。
2	平成 24 年 10 月 7 日 9:30~12:30	3 時 間	7 人	ロシア (1 人) 中国 (1 人) フィリピン(2 人) ベトナム (1 人) 日本 (2 人)	バラバラ炒飯 鶏ミンチのスープ、 鶏肉の照り焼きトマトソース	残り物を上手に使い、すぐできておいしいメニューを学ぶ。 料理用語を実践とともに学ぶ。 「湯どおし」「ゆでる」「ひと沸かしする」「煮えばな」などという普通に使う料理用語の微妙な違いを体験する。
3	平成 24 年 11 月 18 日 9:30~12:30	3 時 間	22 人	ロシア (1 人) 中国 (2 人) フィリピン(2 人) 日本 (5 人)	箸のから揚げ 八方ダレ 厚揚げののら味噌	食品の切り方の言葉の学習と実践。 品よく盛り付ける 小高く盛り付ける など、盛り付けに関する言葉の学習。 日本料理のたれ、味噌を学ぶ。
4	平成 24 年 1 月 20 日 9:30~12:30	3 時 間	8 人	ロシア (1 人) フィリピン(3 人) 中国 (1 人) 日本 (3 人)		いりこや昆布を使った出汁の取り方。中華にも応用できる。 野菜や材料の見分け方。 魚や肉を買う時のコツ。 料理用語を実践とともに学ぶ。

会場に予定していた場所の空調設備の不具合があり、食中毒が予想されることより、夏期の料理教室は中止にした。

(8) 特徴的な活動風景



ママと日本語を理解しながら、料理をする
(11月18日)



レシピを見ながら、調理の順序を理解する(1月17日)

(9) 取組の目標の達成状況・成果

食生活は生活にとって非常に大事である。こちらの学習者のように日本人男性の妻であり、子どもを育てている場合は、より重要である。その分、悩みも多い。講師は郷土料理研究者であり、徳島の食材を使った、化学調味料を使わない(ダシの材料ももちろん県産品)レシピを提供するので、ここ以外の料理教室でもファンが多い。

「この料理教室は私にとってとてもだいじです。先生は簡単だけど大事なことをいつも教えてください。先生の言ったとおりに作ったら、おいしくできます。主人と子どもたちがこの料理教室を楽しみにしています」(フィリピン・女性)

「先生が開いているお料理教室に行きたいと思うけれど、日本人の人ばかりだと、外国人が

行くのは、大変です。日本語がよくわからなくて、迷惑をかけたら困ります。ここだと、レシピにはひらがながついているので、私でも読めます。日本語は日本語の先生が説明してくれるし、お料理の先生はとてもおいしい作り方を親切に教えてくれるので、助かります。お料理はずっと続けてください。」(ロシア・女性)

「日本人の私にとってもこの料理教室に来ると学ぶことがたくさんあります。外国人のママたちとの交流も料理という作業を通してするので、とても仲良くなれてうれしいです。それと、主人が消防士なので、職場でまかないをすることがあり、ここのレシピは彼でも出来て、同僚に評判がいいらしく(笑)主人がとても楽しみにしています。勤務に都合がつけば、自分も参加したいと言っています。」(日本・女性)

(10) 改善点について

出席者が直前までなかなか決まらない。予定しない人がいきなり来ることがあって、材料の都合に困ることがある。

○取組 4: シンポジウム 「外国人生活者の地域順応と協働を考える」

(1) 体制整備に向けた取組の目標

これまで日本語教育支援に関わってこなかった地域の日本人住民に外国人住民の存在を知ってもらい、日本語教育の大切さや本事業の取組を周知し、連携協力体制づくりの土壌をつくる一歩とする。

(2) 取組内容

外国人住民の学びや体験談などを作文やスピーチなどを通して地域の日本社会に発信する。また、地域で活動に取り組む方々に発表していただく。

(3) 対象者

小松島市周辺に在住の外国人、国際交流や日本語教育に関心を持つ日本人

(4) 参加者の募集方法

チラシ、国際交流協会からのハガキ、ラジオの告知、メール配信、口コミ

(5) 参加者の総数 36人

(出身・国籍別内訳

フィリピン6人、中国2人、ロシア3人、日本25人)

(6) 開催時間数(回数) 2時間 (全 1回)

(7) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
----	------	----	------	--------	--------	------

1	平成 25 年 3 月 17 日 9:30～11:30	2 時 間	36 人	フィリピン (6 人) 中国 (2 人) ロシア (2 人) 日本 (25 人)	シンポジウム 「外国人生活者の地域順応と協働を考える」	講演・パネリストに日本人 3 人、外国人 2 人を迎え、司会を交えながら、小松島市、またこの周辺における日本語教育の実情を話し合い、これからの多文化共生について意見を出し合った。
---	--------------------------------	----------	------	---	-----------------------------	---

(8) 特徴的な活動風景

2013 年 3 月 17 日 (日曜日)

シンポジウム 「外国人生活者の地域順応と協働を考える」

講演・パネルディスカッション

上甲 清子 (小松島市小松島幼稚園園長)

村上 治郎 (小松島市国際交流協会会長)

津島喜美代 (郷土料理研究家)

金西 ジーナ (フィリピン)

ボロノワ・ナタリア (ロシア)

司会 村上久美子 (小松島市国際交流協会副会長・地域日本語教育コーディネーター)



フィリピン女性による発表



(9) 取組の目標の達成状況・成果

小松島のような地方都市で、なぜこれまで日本語教育をがんばっているのか、不思議

議に思っていたが、もし自分が彼女たちのような立場だったら、と思うと、みなさんがしていることがよくわかりました。(日本・男性)

配偶者がフィリピン人なので、とても困ることもある。こういう日本語教室があると助かる。全部は出席できないかもしれないが、妻をもっと出席させたい。特に料理教室はありがたい。(日本・男性)

妻(ロシア人)が日本語教室に通い出して、もう4年になる。日本語を習ったら、明るくなり、積極的な以前の妻に戻ってきた。最近は日本語で母国語を教えることができるようになったので、生活に張りが出たようだ。(日本・男性)

(10) 改善点について

タイトルが難しかったようで、敬遠した人もいたようだ。

地域共生、協働と言ってもやはり自分とは関係ないと思っている人が会員でも多いようである。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

当該地域は、典型的な外国人散住地域である。そして、在住する外国人は、殆どが日本人夫の外国人妻だ。その外国人生活者の地域への融合を図り、日常生活全般にかかる出産、育児、教育、近所づきあい、就職等の支援を行う。それにより、日本語を使って、困ることなく健康で安全に日常生活が送れるようにする。自分に自信を持って暮らせるようになる。そして、地域社会の一員として、地域を理解し、また自分から情報を発信できるようになる。また、地域の日本人も、多文化共生を自然と受け入れるようになる。

(2) 事業目的の達成状況

当該地域の日本人による外国人生活者に対する理解が深まったと思われる。そのため、「共生」「協働」という考え方も少しずつではあるが、浸透しつつある。

(3) 地域における事業の効果、成果

地元の幼稚園が積極的に当事業を応援してくれた。そのおかげで、外国人生活者たちの子どもたちが通う保育園、幼稚園、小学校の父母が、外国人の応援団になってきている。外国人の父母がPTAに来ても、自然に受け入れられるようになってきた。

地元の幼稚園、小学校に外国人、及び外国にルーツを持つ子どもたちの受け入れ体勢が整ってきた。

外国人生活者が就労するようになってきた。これは日本語教室の結果だと思っている。

また、外国人生活者の日本語によるコミュニケーションが円滑になったので、母国語教室を当国際交流協会で開催できた。

各学校で、「国際交流」の時間などに、母国の話を講演する外国人も数名できた。

また、PTAで母国の料理の講習会をしたりして、日本人父母との交流を深められるよう

になった。

当国際交流協会と学校現場がつながることができるようになった。また、人権などの講演会で、「外国人生活者」の話をさせていただく機会が増えた。それにより、地域の人たちの外国人生活者への理解が増している。

(4) 改善点、今後の課題について

i 現状

ii 今後の課題 外国人散住地域なので、どうやって外国人を集めるか。日本語教育の必要性をいかに知らせるか。

日本語がうまくなり、就労してしまうと、日本語教室になかなか来なくなる。また、子どもが大きくなると、子育てサークルの必要性がなくなり、塾、スポーツなどに行く必要が大きくなる。それとともに、日本語学習からは縁遠くなる外国人が多い。

学習を継続させるにはどうしたらよいか。

iii 今後の活動予定

月に2回の日本語教室。

月1回の料理教室。

月1回の幼稚園をお借りしての「インターナショナル子育てサークル ももたろう」

(5) その他参考資料

アンケート

日本語は少し読めるけれど、漢字はかけません。もっと勉強したいです。

いろんな料理を教えてもらったのはうれしかったです。つくしも初めてたべました。

(フィリピン 女性)

いつもお世話になります。今、介護の仕事をしているけど、もっと日本語のことばを勉強したいと思っています。漢字をかけるようにしないと。もっともっと、勉強です！日本語教室をつづけるようお願いします。

(フィリピン 女性)

いつも楽しく参加しています。日本語教室で、もっと勉強したいです！漢字を覚えたいです。こどもが学校に行ったら、わたしも勉強です。日本語教室はやめないでください！また、よろしくおねがいします！（フィリピン 女性）

こんなところ(田舎)に日本語教室、それも標準語を教えてくれるところがあるとは思いませんでした。私達夫婦は2年間日本にいますが、日本語を勉強して、アメリカでも話したいと思います。(アメリカ 男性)

タイから来て、一番大変なのが日本語でした。おしえてくれて、ありがとうございます。

子育てサークルは、日本人の考え方、いろいろな国の人の考え方をおしえてくれて、よかったです。私も、タイのことをよく考えるようになりました。

(タイ 女性)

ロシアから来て、12年になりますが、今も日本語がよくわからない時があります。ここに来ると、いろいろな国の人も、日本語がわからないから、たくさんそんな話ができうれしいです。

子供のめんどもみてくれてありがとうございます。(ロシア 女性)

(「ももたろう」参加の感想)

今年度、出来る限り参加させていただきました。

子供の同級生で、お母さんがロシア出身の方がおられ、どうにか交流していきたいと思っていました。

そんな中、日本語の国際交流に参加され勉強されていることを幼稚園行事で知り、私が参加することによって、お互い気兼ねなく会話できればという思いで参加しました。

料理教室では、子供を預かって頂けるので、子供同士も異文化交流が自然とできて、わが子にとっても、普段では出来ない良い経験ができましたし、親同士も、料理を通じて触れ合うことができ、また、日本以外の国の事情や習慣等、得るものが多く参加でき大変良かったと思います。

お国柄で時間にルーズだったり、学べる事があり大変意義のある時間でした。

お国柄を知ることができる素敵な時間を過ごせました。

国際交流という場を借りて、日本国内だけの考え方にとらわれず、自分の考え方に凝固せず、少しでも柔軟に、日本人であること、その考え方にとらわれずに教わる事ができ、参加する度に、勉強させてもらった場所でした。

もっと、異文化交流が広がり、日本と海外の垣根が低くなれば幸いです。

(日本 女性)

ワイド とくしま

- 本社地方部 ☎088-6551-7242
- 鳴門支局 ☎088-6861-2691
- 松茂支局 ☎088-6991-3707
- 小松島支局 ☎0885-1321-0622
- 阿南支局 ☎0884-1221-2101
- 石井支局 ☎088-6741-0071
- 板野支局 ☎088-6721-1458
- 吉野川支局 ☎0883-1241-2347
- 阿波支局 ☎0883-1361-8507
- 美馬支局 ☎0883-1521-0151
- 三好支局 ☎0883-1721-1235
- 那賀支局 ☎0884-1621-1800
- 美波支局 ☎0884-1771-1738
- 牟岐支局 ☎0884-1721-0134

関話 小 題

小松島市国際交流協会

外国人を対象に 子育てサークル

小松島市国際交流協会が、県内在住の外国人を対象にした子育てサークル「ももたろ」を発足させた。異なる文化や生活習慣、言葉や風習の違いを話し合ったり、日本人スタッフが相談に乗ったりしており、協会は広く参加を呼び掛けている。

2月から月1回、同市冠婚葬祭、学校のPTA、神田瀬町の小松島幼稚園 活動など相談内容は多岐を網羅してもらい、ロシアにわたる。ア人、中国人を中心に30歳から40代の約10人が参加。協会員が数人がボランティアで、語教室が評判を呼び、子育てサークルを盛り上げる。敬語の使い方や、名前は桃太郎のようにた

敬語の使い方・冠婚葬祭…相談内容幅広く



子育てサークルで交流する外国人と日本人スタッフ—小松島市の小松島幼稚園

くましい子に育ててほしいとの願いを込めて付けた。ロシアから来日して2年目で、サークルのリーダーを務めるボロノフ・ナタリアさん(29)同市大林町、主婦は「日本人とのコミュニケーション

ンの取り方が難しいといふ外国人は多い。悩みなどを話し合い、いろいろなことを勉強できれば」と話している。

母親同士 気軽に集う

外国出身者の子育て広場好評

県内で暮らす外国出身者の子育てを支援しようと小松島市国際交流協会が昨年、開設した子育て広場が好評だ。同市内で月1回開き、子育てや生活上の不安や悩みについて協会スタッフが相談に乗ってくれる。利用者同士で互いに悩みを話し合うこともでき、日本に不慣れな外国人保護者にとってちょうどいい息抜きの場になっている。

【山本健太】

県内に住む外国人へ 昨年2月から同市神の支援を92年から続け 田瀬町の小松島幼稚園の同協会は、2009年を月1回、週末に開放と10年に国の委託で日 してもらって会場に本語教室を開いた。教 室には子育て中の母親 イリピンなど5カ国前の参加も多く、参加者 後の5、10人が参加すから「母親同士が気軽 する。日本人の母親が加に集える場がほしい」 わることも多いといとの声が上ががり、広場 う。参加する外国人はを開設することにした 来日して10年前後に という。 なる人が多いが、いま

小松島市国際交流協 悩みなど相談



子育て広場に参加した外国出身の母親やその子どもら
—小松島市神田瀬町の小松島幼稚園で

だに日本の習慣など。に少なからず悩みや不安を抱えていると、広場で自分の子どもたちが遊んでいる間、

協会のスタッフと気軽に悩みを話したり、母親同士で子育てについてアドバイスし合うなどしている。

フィリピン出身で、3人の子を育てている金西ジーンさん(41)は「日本で10年近くが過ぎたが、分からないことも多い。悩みを話せる機会があって良かった」と感謝する。2児の母でロシア出身のポロワ・ナタリアさん(32)も「他の国の子育てのアイデアを学べたり、コミュニケーションが生まれておもしろい」と話す。

広場は県内在住で小学生までの子を持つ親なら誰でも無料で参加できる。

平成 24 年度 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業受託

外国人生活者の地域順応支援プログラム

にほんごきょうしつ

できる！わかる！なかよし！日本語教室2012

小松島市国際交流協会は、文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の委託を受けて、「外国人生活

者の地域順応支援プログラム「できる！わかる！なかよし！日本語教室 2012」を今年度も開催することとなりました。

今年、地域の日本人のみなさんも外国人の方も参加できるよう、外国人の日本語教室の他に ①国際ナショナル

子育てサークル「ももたろう」、②日本食料理教室をいたします。日本語教室では外国人の希望に応じ、より生活に必要

な日本語を学習します。子供を連れて参加できます。

☆対象 小松島市、その付近にお住まいの外国人の方、またお料理教室、子育てサークルに参加したい日本人の方

☆人数 20名程度。いつでも申し込みます。参加される場合は前にお電話かメールでお知らせください。080-6399-7593

☆講習期間 2012年7月29日(日曜日)～2013年3月17日(日曜日) 月3回 9:30a.m.～12:30a.m.

☆参加料 日本語教室・子育てサークル…無料 お料理教室(毎月1回)…一家族 500円

第1回 7月29日(日)は日本料理教室です！

場所と時間 小松島市総合福祉センター2階調理室 9:30am～12:30am

メニュー おいしい親子丼の作り方 お吸い物 簡単な夏のスイーツ(予定)

材料費 一家族 500円 参加希望の方は前もってお知らせください。次回料理教室は8月19日。

託児あります

Childcare available

第2回 8月5日(日)は子育てサークル「ももたろう」です！

場所と時間 小松島市小松島幼稚園 9:30am～12:30am お子さんといっしょにどうぞ。

「ももたろう」では、どんなことをするの？

小松島市国際交流協会の日本語教室に来ていた外国人ママたちが子育てサークルをつくりました。

主なメンバーは外国人のママたちです。子どもを託児しながら日本語を勉強し、おさんといっしょにみんなとなかよくなり、子育ての不安や疑問を話し合ひましょう。日本人のママたちも大歓迎です！

「ももたろう」では日本語に加え、日本の文化や生活習慣を学ぶことができます。

◎外国人ママたちの日本語教室

☆日本語能力検定試験の学習をして、学校のお使いが読めるようになりましょう。

◎絵本などによる学習

☆絵本、DVDにより日本や外国のおはなしを勉強しましょう。

◎各国の子育てなど文化紹介

☆お弁当、和食などの日本料理をいっしょに作りましょう。

☆阿波弁や標準語など生活習慣を学んでおしゃべりしましょう。



Offered at the request of the Agency of Cultural Affairs JAPANESE LANGUAGE CLASS “YES, I CAN! 2012”

Let's study essential Japanese for easy living in Tokushima with us! Have you been able to explain about your condition at the hospital when you got injured or sick? What should you do when you face a fire or an earthquake? Did you have any difficulty in understanding about your children's school events or systems? You can learn Japanese language as you would like to learn, also once a month you can learn Japanese cooking (easy but delicious). We also have the childcare, so you can take children. Once a month, we have childcare group”MOMOTARO” with Japanese and foreigner moms.

小松島市国際交流協会

小松島市横須町1-1